Interview
学部長室へようこそ

キャリアデザイン学部長
金山 喜昭

2003年に国内初のキャリア研究の専門学部として設立され、
以来キャリアデザインの意義やあり方を社会に向けて発信してきた本学部。
このページでは現役学部生4名が、
金山学部長にインタビューをしています。

冨田真央/津田純市/伊藤優里/梶浦悠太

Q キャリアデザイン学部の特徴

学部生　キャリアデザイン学部の他にはない特徴はなんですか?

学部長　現代社会の複雑さに対応した学術的な学びです。現実の社会は、社会と人の生き方の課題を一つの専門領域からでは解き明かせないことがあります。そのために、1年次からキャリアデザインに関する基礎科目と、「発達・教育」「ビジネス」「ライフ」の3領域の入門科目を総合的に受講し、基礎を横断的に学びます。そのうえで研究テーマを設けて、自らの専門を構築することができるのです。また、1年次からの少人数ゼミや、民間企業、地方自治体、学校等でのインターンシップ等により、実社会の中で知識やスキルを身につけます。

学部生　本学部での学びは社会に出てからどのように活かされますか?

学部長　生き方をマネジメントする専門性が発揮できます。今の日本では、昔のように「良い大学」「良い会社」がイコール幸せな人生として保障されるわけではありません。本学部で身につけた能力は、企業や地域社会などで他者のキャリアをサポート、マネジメントすると同時に、自分の生き方をもマネジメントしていくなど、あらゆる場で活かすことができるでしょう。

Q 受験生に伝えたいこと

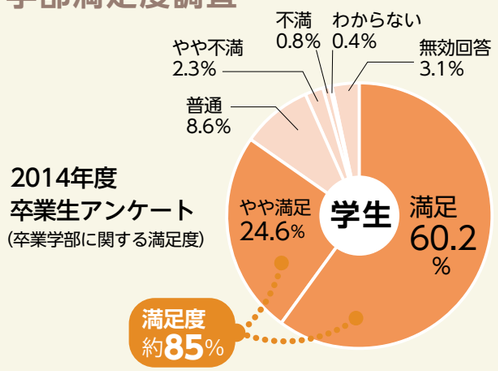
学部生　将来どのような道に進めるのですか?

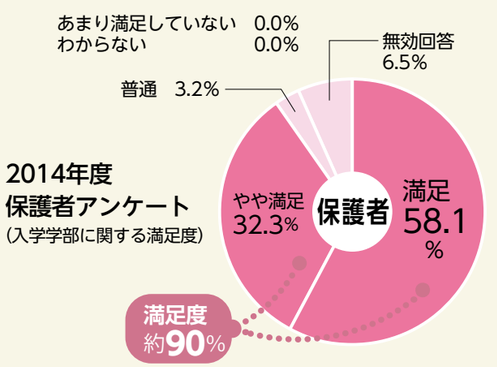
学部長　文系学部は、どの学部でも職業選択に大きな差があるわけではありません。企業(サービス、卸・小売、金融・保険、運輸、文化情報、マスコミなど)、公務員、教員、起業家、キャリアカウンセラー、社会教育・文化施設専門職など様々です。地域振興の担い手になるような人材も育ってきています。

学部生　キャリアデザイン学部を志望する受験生に、メッセージをお願いします。

学部長　自分は何者なのか、何をしたいのか、将来の自分を描けずに迷っている人たちは多いと思います。あるいは、既に将来の目標をもっている人もいるでしょう。どのような人たちでも歓迎します。本学部の教員やスタッフは、学生のキャリア形成を支えるプロとしての自覚を持って、みなさんの学びと成長を支援することを約束します。

学部満足度調査





HOSEI FACULTY OF LIFELONG LEARNING AND CAREER STUDIES

法政大学 キャリアデザイン学部

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL 03-3264-9341　http://www.hosei.ac.jp/

この学部では、多様な入試のかたち
(一般入試、大学入試センター試験、
推薦入試、特別入試など)を用意しています。
自分に合った入試に挑戦してください。
入試の詳細については、大学案内をご覧ください。

VEGETABLE OIL INK

自由と進歩 法政大学

2016

キャリアデザイン学部

生きるを考え はたらくを学ぶ

コミュニケーション重視の
少人数制授業
多彩なゼミと体験型授業で
育む実践的マネジメント能力

学部FB　学部フェイスブック
https://www.facebook.com/hoseicareerdesign

学部HP　学部ホームページ
https://www.hosei.ac.jp/careerdesign/index.html

公開授業　学部インターネット公開講座
https://schoo.jp/campaign/2014/hosei_univ

その先の自分を創る。

FACULTY OF LIFELONG LEARNING AND CAREER STUDIES

キャリアデザイン学部のビジョン

VISION

■ 発達・教育キャリア領域
- 教育心理学
- キャリアカウンセリング
- 学校論
- メディア教育論
- 生涯学習
- 教育社会学
- 教育マネジメント

■ ビジネスキャリア領域
- 人材育成論
- キャリア開発論
- 戦略経営論
- 産業論
- シティズンシップ論
- 広告ビジネス論
- 経営会計論

■ ライフキャリア領域
- 若者文化論
- アート・マネジメント論
- ブランド創造論
- 多文化社会論
- 国際地域研究
- 家族論
- アイデンティティ論

キャリアデザインって?

〈キャリアデザイン〉とは、学校での〈学び〉を〈働く〉ことと
〈暮らす〉ことにつなげて生き方 (career) を設計 (design) すること
――あなたの学びは、人々と共に暮らし働くことに、
ちゃんとつながっていますか?

キャリアデザイン学部の特徴

マネジメント能力を育む学際的な学び P.4

- 1つの専門分野だけでは乗り切れなくなっている現代社会に対応
- 1つの領域を軸にしつつ多彩に学べます
- 入学後にまず基礎を学んでから2年次以降専門領域を選べます

学究を深め実践力を高めるゼミ P.10

- 29の多彩なゼミがあります
- 少人数制で丁寧な指導、コミュニケーション能力が身につきます
- 学外とのつながりが深く社会性が育ちます

4年間味わいつくす体験型学習 P.12

- 企業、NPO、博物館等へのインターンシップが充実
- 丁寧な事前・事後指導で単なる「体験」以上の体験になります
- 外に出るのが苦手な人にもきめ細やかなケアで安心のプログラムです

充実した学生支援・キャリア支援 P.16

- 教員やアドバイザーが充実しています
- 学生自身も互いに支援することで支援の極意を学びます
- 充実したキャリアアップ奨励金（資格取得費用の補助）

キャリアデザインにおける学びとは?

キャリアモデル論	キャリア形成に有効なモデルを学ぶ
就業・キャリア形成論	若者の就業とキャリア形成の課題を学ぶ
キャリア教育論	学びを働きにつなげる学校教育のとりくみを再考する
生涯学習論	生涯学びつづけられる新しい社会像を学ぶ
起業精神(アントレプレナーシップ)論	自分のアイディアを生かし社会に貢献する
ワークライフバランス論	生活と仕事のバランスをとりながら豊かに暮らす
まちづくり論	変化するコミュニティのまちづくりに参加する
国際関係論	グローバル社会における複雑な国際関係を学ぶ

キャリアデザイン学部で育てたい人材 P.5

生涯学びつづけながら他者の学びとキャリア形成を支援する人材

生涯学習社会では支援者もまた学びつづける姿勢が求められます
共に成長し合う学びのリーダーを育てます

人間に対する洞察力を備え経済社会の発展・変革に貢献できる人材

社会で活躍するには経営の専門知識と同様に幅広い教養が必要です
知識と行動で社会を変えていくリーダーを育てます

身近なコミュニティを理解し地域の発展を支援することができる人材

家族や地域社会など生活の場におけるさまざまな課題の解決に
積極的に取り組むことができるリーダーを育てます

なぜ、いまキャリアデザインが必要なの?

❶ 学び方が変わってきたから

■塾を利用する小学生の割合①
1985 16.5% → 2007 45.4%

■小学校教科書のページ数 ②
2002 2,771ページ → 2012 4,026ページ

■大学等進学率 ③
1986 34.7% → 2014 56.7%

❷ 働き方が変わってきたから

■選考時に「コミュニケーション能力」を重視する企業の割合 ④
2001(卒) 50.3% → 2014(卒) 82.8%

■女性の管理職 (係長以上) ⑤
1998 7.9% → 2011 28.5%

■非正規雇用率 ⑥
1984 15.3% → 2013 36.7%

❸ 暮らし方が変わってきたから

■生涯未婚率 ⑦

	男性	女性
1980	2.6%	4.45%
2010	20.12%	10.61%

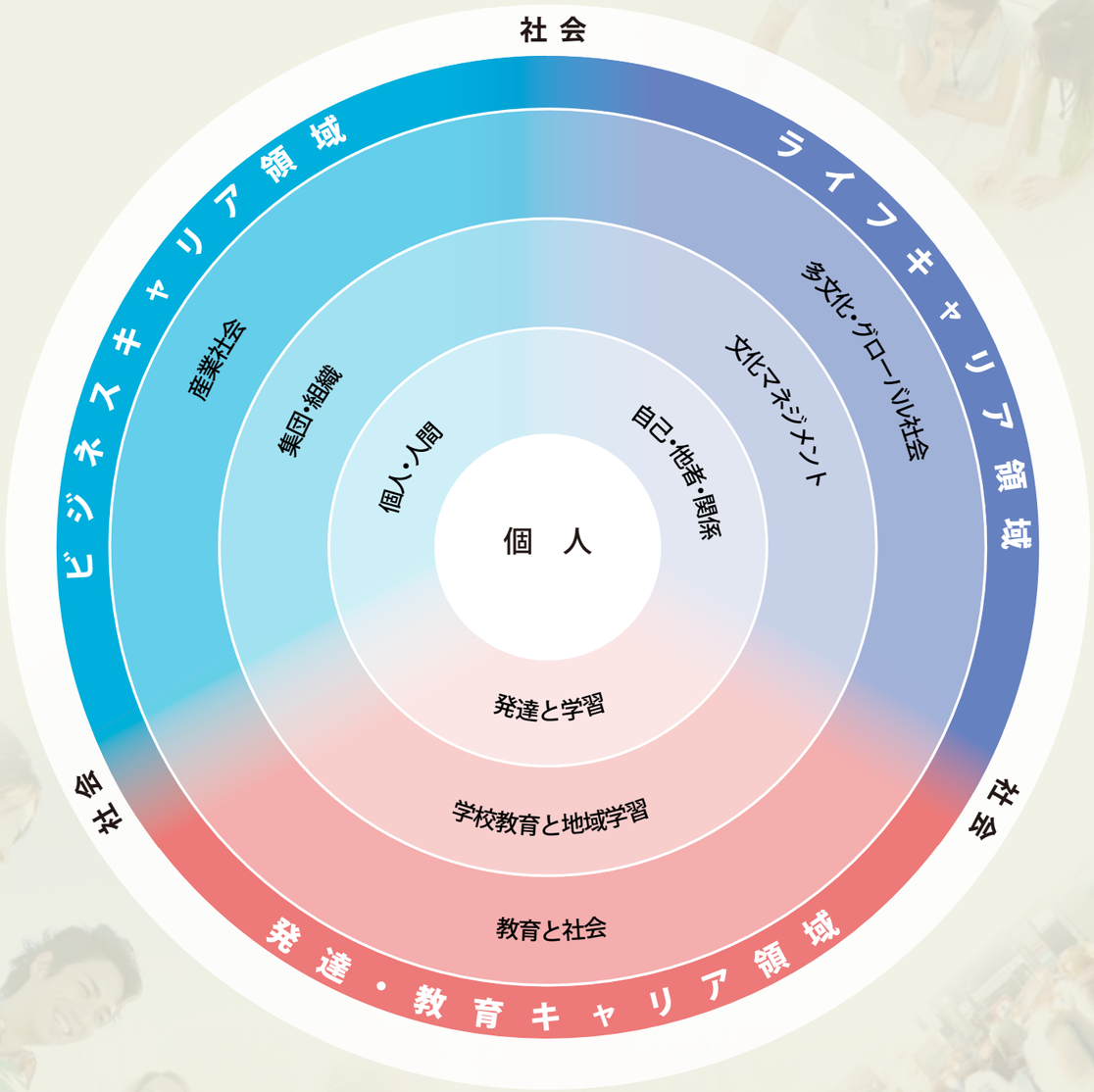
■「夫は外で働き、妻は家庭を守る」の考え方に反対 ⑧
1979 20.4% → 2012 45.1%

■近隣の行き来がよくある ⑨
1975 85.6% → 2007 40.9%

①文部科学省「子どもの学校外での学習活動に関する実態調査報告」(2008)より。2007年のデータには通信添削を含む。 ②4教科合計。文部科学省・学研発表 ③文部科学省「学校基本調査」(2014)より ④日本経済団体連合会「新卒採用(2012年4月入社対象)に関するアンケート調査結果」より ⑤内閣府「男女共同参画白書」(2012)より ⑥総務省統計局「労働力調査(詳細結果)」(2014)より ⑦国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集より ⑧内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」より ⑨内閣府「国民生活選好度調査」より

キャリアを軸に個人と社会をつなぐ ── カリキュラムの構成

キャリアデザイン学部では、人のキャリアが築かれる場として、３つの領域を設定しています。
学びの場（発達・教育キャリア領域）、働く場（ビジネスキャリア領域）、そして生活の場（ライフキャリア領域）です。
これら３つの領域におけるキャリア形成のあり方を専門的に学ぶことにより、
他者と自分自身のキャリア形成をマネジメントする力を身につけます。



領域とは　キャリアデザイン（生き方の設計）は複雑ないとなみ。本学部では、3つのアプローチ方法でそこに迫ります。家庭・学校・地域・生涯学習社会における学びに焦点を当てる「教育学（発達・教育キャリア領域）」、企業組織やビジネス場面におけるキャリア形成に焦点を当てる「経営学（ビジネスキャリア領域）」、コミュニティや社会におけるライフキャリアに焦点を当てる「文化・コミュニティ論（ライフキャリア領域）」。この3つを「領域」と呼び、1年次は3つの領域全般の基礎を学び、2年次以降特に重点的に学ぶ領域を選びます。

キャリアデザインを体系的に学ぶ

――3つの領域を総合的に学び、「生き方（キャリア）をマネジメントする専門家」を目ざします!

キャリアデザインを体系的に理解し、実践していくために、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の３つの領域を複合的に学びます。それとともに、それぞれの領域において、身近な個人レベルの問題から、より幅広い社会レベルの課題まで、段階的に探究を進め、専門性を深めていきます。

発達・教育キャリア領域

生涯学びつづけながら
他者の学びとキャリア形成を支援する人材を育てます

STEP 1 「発達と学習」
子どもからおとなへと成長するなかで課題となる、
発達障害や学力形成などの理解を深め、カウンセリングについて学びます。

STEP 2 「学校教育と地域学習」
学校とNPOや公民館や企業など地域の諸機関はどのように連携しながら
人の育ちを支援できるのか探究します。

STEP 3 「教育と社会」
社会全体のなかに学校教育や地域教育を位置づけ俯瞰する力を獲得し
社会に有益な学びの在り方をデザインします。

ビジネスキャリア領域

人間に対する洞察力を備え
経済社会の発展・変革に貢献できる人材を育てます

STEP 1 「個人・人間」
仕事に対するモチベーション、リーダーシップなど、
働く場における人間理解や洞察力を身につけます。

STEP 2 「集団・組織」
社会における組織・集団の役割を理解し、そこで働く意味を学びます。
組織を動かして社会で活躍できるリーダーの素養を育みます。

STEP 3 「産業社会」
ビジネスを取り巻くさまざまな現象に関する専門的な知識を獲得して、
社会を変革していくための見識を広げます。

ライフキャリア領域

身近なコミュニティを理解し
地域の発展を支援することができる人材を育てます

STEP 1 「自己・他者・関係」
自己のアイデンティティについて掘り下げ、家族間や世代間など、
コミュニティにおける人と人との関係性を探ります。

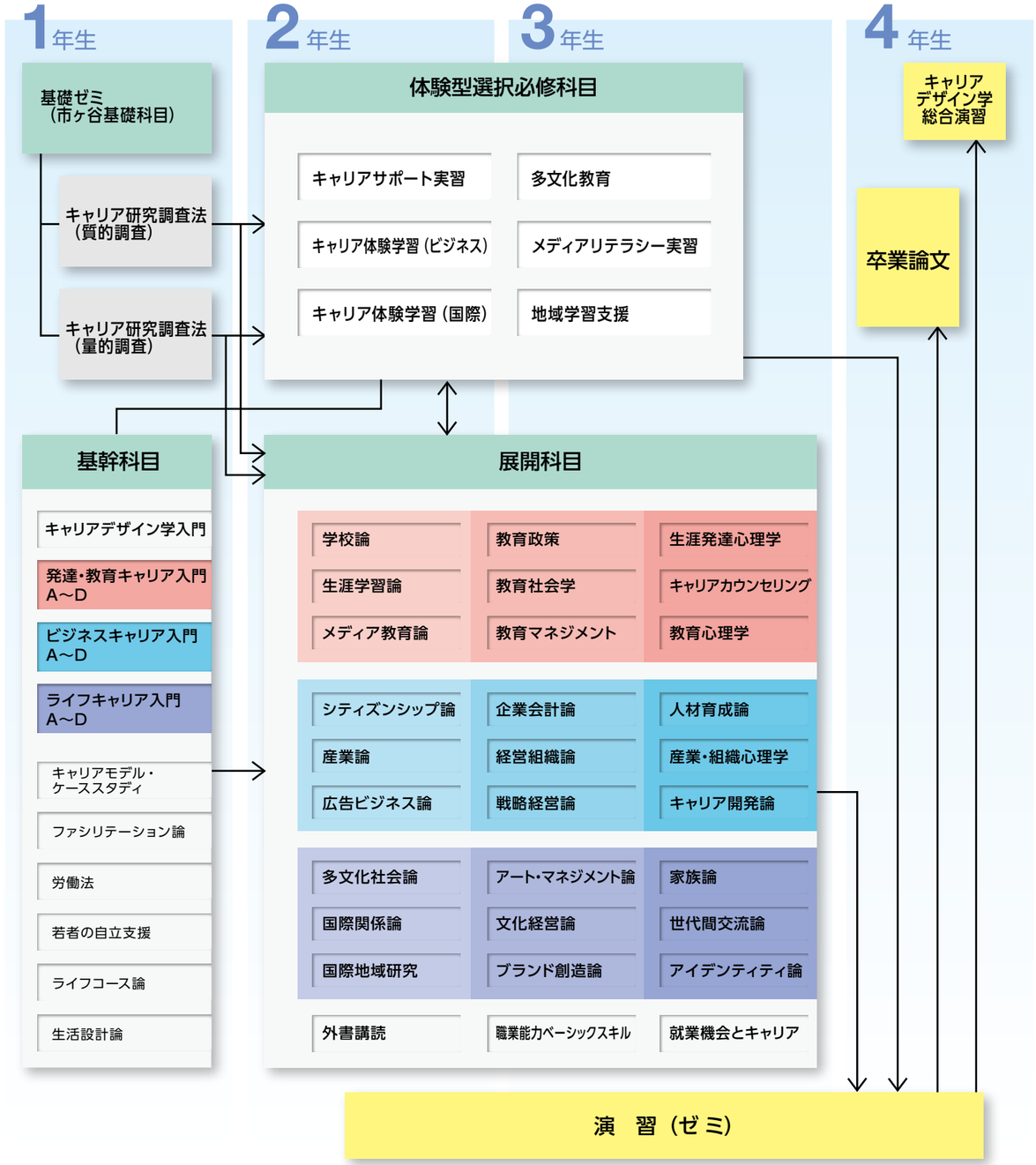
STEP 2 「文化マネジメント」
「文化」という要素を活用しながら、地域の活性化や創造的な
まちづくり、新しい産業やブランドの創出について探究します。

STEP 3 「多文化・グローバル社会」
多様な文化をもつ人々が共生する社会を目ざして、
グローバルな観点から社会に関与していく姿勢を身につけます。

カリキュラムマップ

- キャリアデザイン学部では、1年次にキャリアデザインに関する基礎を学びます。そして2年次から、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の3つの領域にそって、専門性を深めていきます。
- 講義型の科目に加え、学外でのインターンシップやフィールドワークなど、社会のさまざまな現場における実習を行う体験型の科目を通して、実践的なキャリアデザインのスキルを身につけます。
- また並行して、教員免許や博物館学芸員などの資格の取得や、外国語のコミュニケーション・スキルのアップを図ることができます。

キャリアデザイン学部　カリキュラムマップ（開設科目の一部を紹介します）



キャリアデザインを体系的に学ぶ

――学生一人ひとりの学びを親身にサポート

「基礎ゼミ」で学びの土台作り

「基礎ゼミ」は、すべての新入生が履修する科目です。1クラス20名程度の少人数制で、学部の専任教員が担当します。文献や各種データの調べ方、論理的な思考方法、アカデミックなレポートの書き方、プレゼンテーションのスキルなど、大学における学びの基礎をしっかりと身につけます。

キャリアアドバイザーによる継続的な支援

カウンセリングの専門スキルをもつキャリアアドバイザーが、4年間を通して皆さんのサポートに当たります。1年次の秋学期には、学生一人ひとりと面談し、学習の進め方や資格取得に向けてのアドバイスを行います。2年次以降に始まるインターンシップや実習においてもアドバイザーの支援が得られます。

ピアサポートを通して互いに学び合う

ピアサポートとは、ピア（仲間）同士で支援し合うことです。キャリアデザイン学部では、学生たちが互いに学び合いながら成長していくことを目ざしています。「オープン・キャンパス」では、在学生が受験生を支援し、新入生を対象に催される「履修相談会」では、先輩が後輩の学習計画作りをサポートします。

伊東 慶 2年生

国際的なビジネスに関心のある私は、経営と多文化の両方が学べるこの学部を選びました。基礎ゼミや、留学生による日本語スピーチ大会「Hi-C Orange」のサポート活動、旅行をとおして交流するサークルなどで、たくさんの友人ができ、とても充実した時間を過ごしています。2年秋にはSA（留学）に参加する予定ですが、同じSA予定の学生向けの実用英語の授業が1年次からあるので勉強になっています。また、3つの領域全ての入門科目の授業を受けることができるので、2年次からの専門をじっくりと考えることができました。

伊東慶さんの一週間の過ごし方（1年次秋学期）

	月	火	水	木	金	土	日
1限		英語1-1	中国語1-1	ビジネスキャリア入門C	ビジネスキャリア入門B		
2限				職業選択論I	Oral presentation&discussion（ERP）		
昼休み	3限の準備						
3限	キャリアデザイン学入門	ライフキャリア入門C	基礎ゼミ	心理学I	※Gラウンジ AVライブラリー	アルバイト・課題	家族または友人と過ごす・課題
4限	AVライブラリーで映画鑑賞勉強	社会学I	国際コミュニケーション語学	自然総合講座A	中国語2-II		
5限				英語2-1			
放課後	英会話教室	勉強	勉強		サークル仲間とフットサル		

※Gラウンジは英語ネイティブスピーカーと話せる専用ルーム。

藤本 亜美 3年生

高校時代から「中高生のキャリア教育」に関心のあった私は、この学部に運命を感じて入学。困難を抱えた生徒はどう支援すべきか。地域コミュニティにできることは何か。北欧の教育はどこがユニークか。人は企業でどう育つか。視野をぐっと広げ、自分の考えの甘さに気づかせてくれる3領域の授業は、オープンキャンパスやNPOカタリバのスタッフとして、高校生に夢を持つきっかけを与える活動に生きています。より深いコミュニケーションができるようになっているかなと思います。「継続は力なり」、英会話も頑張っています。

藤本亜美さんの一週間の過ごし方（2年次秋学期）

	月	火	水	木	金	土	日
1限	生涯発達心理学			勉強	勉強		
2限	キャリアカウンセリング		キャリア開発論			カフェでバイト	読書・休憩
昼休み		カフェでバイト					
3限	コミュニティ社会論		人材育成論	勉強			
4限	若者文化論		キャリア体験学習	発達・教育キャリア入門D	勉強		
5限	キャリアモデルケーススタディ	サークル	筒井ゼミ			遊び	遊び
6限	英会話		筒井ゼミ	カフェでバイト	カフェでバイト		

新入生のための基礎科目群

キャリアデザイン学部に入学した学生は、市ヶ谷キャンパスの各学部共通の一般教養科目（市ヶ谷基礎科目）を履修するとともに、1年次から学部独自の専門的な科目（基幹科目）を学び始めます。

Step 1

市ヶ谷基礎科目

人文・社会・自然科学に関するさまざまな科目を幅広く履修することにより、大学生にふさわしい、豊かな教養や思考力を身につけます。

基礎ゼミ

P.7

少人数のゼミ形式の授業において、大学での学びにおける基本的なスキル（高校までの学習と大学での学びのちがい）を習得します。

Step 2

キャリアデザインの基盤となる「基幹科目」 ※主な科目を紹介します

キャリアデザイン学入門

キャリアとは何か、キャリアデザインとは何かを、「発達・教育」「ビジネス」「ライフ」という3つの視点から考え、本学部における学びの概要を理解します。この授業を通じて、自らの人生を主体的に設計し、かつ他者の人生設計を支援する専門家に向けての土台を作ります。

キャリア研究調査法

大学生のキャリア意識や就職活動のプロセス、男女のワークライフバランスなど、人の生き方や学び方、働き方などをめぐる調査や研究に必要な手法を学びます。少人数クラスで、質的調査（観察やインタビューとその分析）と量的調査（アンケート作成やデータ分析）の基本的スキルを習得します。

発達・教育キャリア領域 入門A～D

発達障害・モンスターペアレント・生涯学習・キャリア教育・カウンセリングetc.…発達と教育をめぐる基礎的な知識を学ぶと同時に、教育問題を議論するために必要な視点を獲得します。学校教育と生涯学習、2つのテーマから、今日の社会における教育の諸問題を体系的に学びます。

ビジネスキャリア領域 入門A～D

Aミクロ経済学、Bマクロ経済学、C経営組織・経営情報、D経営戦略の4つのテーマで構成されています。経済のしくみや企業内外のさまざまな現象について広く知識を得ます。喩えるなら、ビジネス分野の学習に船出する前に、海図を渡して航海ルートを説明するための科目です。

ライフキャリア領域 入門A～D

身近な家族や地域社会からグローバルな国際社会までを視野に入れ、現代社会における人々の多様な生き方を理解します。現代家族論、コミュニティ論、文化創造論、まちづくり文化論の4つのテーマのもとで、さまざまなコミュニティにおけるキャリア形成のあり方を探ります。

資格の取得や語学のレベルアップを目ざすためのサポート体制も充実！

P.13

▶キャリアデザイン学部では、教職をはじめさまざまな資格を取得することができます。これらの資格には、多くの単位取得が必要ですが、学部の教員やキャリアアドバイザーと相談しながら、1年次より計画的に資格の勉強を始めることができます。

P.14

▶「国際コミュニケーション語学」（英語・中国語）やTOEIC対策用の授業など、外国語のレベルアップを図ったり、SA（スタディ・アブロード）の準備に向けての語学科目が多数用意されています。また、全学で展開されているERP（English Reinforcement Program 英語強化プログラム）に参加する道も開けています。

2年次以降の専門科目

P.10 P.11

2～4年次にかけては、3つの領域のいずれかを軸にして、専門的な学びを深めていきます。
2年次の後半からは少人数による演習（ゼミ）も始まり、実社会と関わりながらさまざまな研究活動を行います。

主な科目を紹介します

発達・教育 キャリア領域

発達と学習

「生涯発達心理学」
人間は生（誕生）から死に至るまでどのように発達し変化するのか、それぞれの人間の発達段階に沿っての発達課題とその発達特性を心理学的な視点より研究します。

学校教育と地域学習

「生涯学習論Ⅰ・Ⅱ」
「生きる力」「仕事の力」としての「コアコンピテンス」形成と「基礎学力」「受験勉強」との関係を理解し、リテラシーに関わる法律や政策、制度の課題と解決方法を考えます。

教育と社会

「教育社会学」
日本社会の教育・福祉・労働における歪み・軋みにどう向き合うか、数量データや文献を検討します。毎週たっぷりの予習、授業は真剣なディスカッション。終えたときには確かな知力が身につきます。

私のおすすめ授業

「メディア教育論」
普段何気なく使っているスマホやネット、何気なく見ているテレビや新聞。広告やCMを自ら制作することを通じて、情報を鵜呑みにせず、多角的に分析する力がつきました。
（4年:安部 功太郎）

ビジネス キャリア領域

個人・人間

「リーダーシップ論」
社会で求められるリーダーシップとは何かを学びます。様々なタイプのリーダーを知り、理論と実際を照らし合わせながら理解を深めます。リーダーシップを発揮するための基礎をつくります。

集団・組織

「経営組織論Ⅰ・Ⅱ」
私たちは組織のなかで働き自らのキャリアを形成していきます。働く動機づけや集団行動、組織のしくみなどの理論を学び、将来ヒトや組織を動かして成果を出せるような思考力を身につけます。

産業社会

「シティズンシップ論」
私たちが生活する場である地域コミュニティでの人の生き方を考えます。地域活性化に奮闘する人々の事例をとりあげます。個々の研究発表などを通じ、私たち自身の社会での働き方、生き方について考え直すきっかけを提供します。

私のおすすめ授業

「マーケティング論」
マーケティングを基礎から学べ生産者の視点を理解できるため、身の回りで売られているモノに対する見かたが変わります。具体例を使い分かりやすく教えてくれるため学生からも人気の高い授業です。　（3年:酒井 遥平）

ライフ キャリア領域

自己・他者・関係

「アイデンティティ論」
自分とは何か、という問いをめぐって、ディスカッションをしたり、ロールモデルとなる人へのインタビューを行い、自らが主体となって人生を設計していく視点を得ます。

文化マネジメント

「文化経営論」
現代社会において文化が果たす役割について考えます。行政や企業、NPOなどによる文化支援が、地域活性化や産業振興とどのように関わっているのかを探ります。

多文化・グローバル社会

「国際関係論Ⅰ・Ⅱ」
大きく変貌していく国際社会について学びます。政治や経済のしくみ、そしてそれに関わる人々の生活や仕事のあり方を探り、グローバルな視野を養います。

私のおすすめ授業

「家族論」
多様化する家族について学ぶことで自分の家族を客観的に考えるきっかけになりました。おとなの発達障害を家族の観点から捉えるという卒論のテーマのヒントももらえました。
（3年:堀 裕佳）

多彩なゼミ —— 4つの特徴

❶29のゼミが開講され 2年生秋学期より全員が学べます
❷職業研究からまちづくりまで 多彩なテーマで 自分に合うゼミがきっと見つかります
❸学校でのボランティア、企業とのコラボレーション、アートでまちづくりなど 社会とのつながりが密接です
❹10名前後の少人数制で 卒業論文まできめ細やかな指導が受けられます

高校生にゼミを公開中!

学部HPより申込。
定員があります。

学生研究発表会

年度末に開かれる学生研究発表会では、ゼミが3つずつ集まって、卒業研究の成果などを発表し、議論します。異なる分野・テーマで学んできた人をどう納得させるか。「他流試合」で学生は大きく成長します。卒業生や保護者の方々も参加されます。広い視野からのコメントに、大きな知的刺激をいただきます。

ゼミの一部を紹介します

発達・教育キャリア領域

尾木ゼミ

尾木ゼミは、臨床教育学の観点からフィールドワークを重視しており、対象とする教育現場は海外にも広がっています。各自の自発的な関心に基づき、学びたいことを深めると同時に、共同調査研究を通して仲間とともに協力する醍醐味も味わいます。

日々のゼミ風景

坂本ゼミ

坂本ゼミは、映像制作を通した国際交流による学習の支援がテーマです。メディアを活用しながら、都内の小学校とカンボジアの小学校との国際交流支援や、3年次でのカンボジア研修でメコン大学の学生との交流を行います。

カンボジアの小学校にて

筒井ゼミ

自分はどんな社会で生きていきたいだろうか。それには、教育・労働・地域・政策はどうあるべきだろうか。明確なビジョンを抱いて社会に出るため、筒井ゼミでは、調査・分析・論文執筆を、みんなでガッツリ学びます。ユーモアと説得力のあるプレゼンテーションの技も磨きます。

行政・教育関係者を前にしたシンポジウム

ビジネスキャリア領域

酒井ゼミ

酒井ゼミはマーケティングが専門です。学外の企業や自治体と連携して商品やサービスをマーケティングしたり、自分たちのアイディアをプロジェクトにしたりと実践的に学んでいます。「教室のなかで考えるよりもまずは街に出てやってみる」がゼミの信条です。

中小企業総合展にて

梅崎ゼミ

梅崎ゼミでは、地元の新宿区・神楽坂を対象に地域研究に取り組んでいます。私たちの研究手法は、オーラル・ヒストリー(口述の歴史)です。仕事や人生の「語り」を集め、人々のキャリアデザインと地域のつながりを議論しています。

神楽坂調査

中野ゼミ

「キャリアデザインに関する実証分析」がテーマです。就職、結婚をはじめ、人はさまざまな選択に直面しますが、それらのメカニズムを科学的に解明します。その過程では「学問の面白さ」を体感できるとともに、「考える力」も獲得できます。

他大学との研究発表会

ライフキャリア領域

荒川ゼミ

荒川ゼミでは、文化やアートを「創造的なコミュニケーションの触媒」ととらえ、まちづくりや地域活性化、コミュニティ形成などに活かしていく方法を探っています。毎年、東京都立川市をはじめ、国内のさまざまな地域でフィールド調査を行ったり、アートプロジェクトを実践しています。

金沢21世紀美術館見学

佐藤(恵)ゼミ

「社会学への招待:『常識を疑え!』」がテーマです。社会学は常識を疑い相対化する実践を重視します。そうした実践は、自分のものの見方・考え方の幅を広げ、新たな気づき・学びを得ていく取り組みで、どのようなキャリアを築いていくにしても、必要不可欠となるものです。

夏合宿にて

金山ゼミ

金山ゼミではフィールドワーク調査や合宿、NPO活動を通して、地域の文化や人びとに触れ、キャリアデザイン力をつけることをめざします。これまでに、長野県小布施町の文化のまちづくり調査、滋賀県長浜市・彦根市のまちづくり調査、千代田区内のミュージアムの連携と調査などを実施しています。

伝統文化にふれる

体験型選択必修科目 ── 体験活動からの主体的学び

体験型の４つの特徴

1. **企業と密接な連携** 単なる見学ではなく商品の共同開発などホンモノの仕事を体験します。
2. **充実した事前指導** 学びの目的や方法を事前に丁寧に指導します。不安を取り除き有意義な活動にします。
3. **丁寧な事後指導** 体験型授業は事後のふりかえりが一番肝心。単なるインターンではなく学びを蓄積していくシステムがあります。
4. **多様な現場:ビジネス・教育・国際** グローバル企業や高校、海外支援のNPOなど多様な現場を体験することができます。

キャリアサポート実習

キャリアサポート実習は、高校生等にキャリア教育プログラムを実施します。学生は高校生等の意見を引き出したり、話し合いを円滑にするようにファシリテーターとして関わります。このような関わりができるようになるために、事前指導では傾聴やファシリテーションを学びます。

高校生にわかりやすく説明する練習

メディア・リテラシー実習

映画監督を授業に招くなどして、メディア・リテラシーの基礎概念を学びながら、映像制作の基本的な技法を習得します。授業では、キャリア・ヒストリーをテーマにした取材映像を制作し、YouTubeを通じて社会に発信します。

番組制作の様子

キャリア体験実習（ビジネス）

国内外の企業で実習を積むインターンシップ型の授業と、企業と共同で行うプロジェクト型の学習があります。例えばプロジェクト型の授業では、企業から提示されたテーマに沿って、課題抽出、情報収集、企画作成、提案、実施までの一連を行います。チームづくりやビジネスパートナーとの関わり方、スケジュール管理等、働くことにおいて必要なさまざまなスキルを、実体験を通じて体得することができます。

企業の担当者と商品企画について打ち合わせ

キャリア体験実習（国際）

アジア経済、世界経済で重要な役割を担う中国・北京やベトナム・ホーチミンに2週間滞在し、日系企業の現場を体験したり、現地大学生と交流したりします。現地の言葉は知らなくても、コミュニケーションを取れることを実感。帰国後には成果報告書を作成します。

ベトナムでのボランティア活動見学

地域学習支援

住民が自主的に地域づくりの学びを深めるのに必要な支援、コーディネートの役割などを学び、多文化教育、地域文化振興、コミュニティとメディア等に関する実践的な現場で実習をおこないます。学部独自の資格「地域学習支援士」の育成の中核となる授業です。

P.14

被災地でのボランティア活動

地域学習支援Ⅱ　2014年度 実習先一覧

1）地域づくり
- 習志野市立谷津干潟観察センター
- NPO法人亘理いちごっこ
- 宮城県青年団協議会
- 労働者協同組合東北復興本部
- 石巻市石の森萬画館
- 七ヶ浜生涯学習センター
- 仙台市青葉区生涯学習センター
- 亘理町いちご農家

2）青少年自立支援
- NPO法人文化学習協同ネットワーク
- 世田谷区野毛青少年交流センター
- 練馬区
- NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

3）多文化理解
- 社会福祉法人青丘社「川崎市ふれあい館」

4）地域文化、フィールド・ミュージアム
- NPO法人野田文化広場
- 野田市郷土博物館
- 市民会館

5）コミュニティ・メディア
- 毎日新聞社
- 毎日映画社
- 川内村
- 飯舘村
- 武蔵大学

Study Abroad

海外の提携大学に留学し、約15週間の英語講座を受講できます。集中的に英語を学び、英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後のキャリア形成の軸となる実践的英語スキルの取得を目指します。
SA参加者は半年間、留学に向けた英語講座を受講します。英語力の向上と同時に、参加メンバーの交流を深め、安心して留学先に向かいます。
留学先はアデレード（オーストラリア）、オークランド（ニュージーランド）で、このプログラムに参加すると16単位が認定されます。

Student Column SA体験

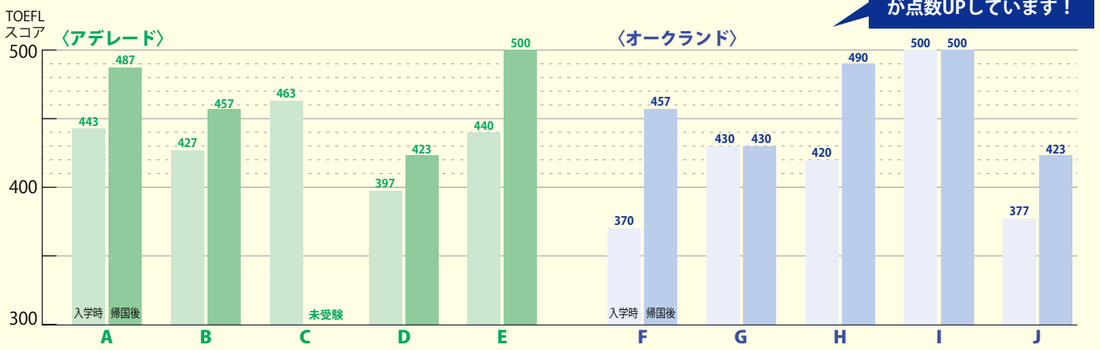
小野田 寛之（3年生）

ニュージーランドへの留学を経験したことは大きなプラスとなりました。留学によって得られるメリットはまず語学力の強化。周りに日本人がほとんどいない英語漬けの環境は、初めの頃こそストレスになりがちですが、しばらくすれば慣れてむしろ楽しさを味わうことが出来ます。また、様々な国の異なった文化の人たちに出会えたことは私の世界を大きく広げてくれました。「知っている」ことと「経験する」ことの大きな違いを実感しました。

ホームステイ先の家族と

2014年度 SA参加者（学生A〜J、10人） TOEFL® スコア

SA終了後は多くの参加者が点数UPしています！



資格取得

本学部ではキャリア形成をより豊かにするための
資格取得を奨励しています。

教員免許

所定の科目を修了することで、以下の免許が得られます。

● 中学校　（一種）社会科

● 高等学校（一種）地理歴史科・公民科・商業科

教職課程に必要な科目のうち、一定単位数を学部の卒業に必要な科目として認定し、学生が教員免許を取得しやすいようになっています（その他の資格科目も同様です）。2012年度に開設した教職課程センター（センター長：尾木直樹）で、教育実習を含めた細やかな指導が受けられます。また、法政大学の教育学関係の専任教員は本学部に所属しており、教員志望の学生は、適切な指導や助言が身近で得られます。

教職課程センター

教員免許取得を支援するための全学向けセンターです。校長、教頭経験の元教員がスタッフとして常駐し、教員になるためのサポートをします。また学生同士での学習会や、採用試験合格者の声を聞く会など、学生同士の学び合いをサポートします。

博物館学芸員

所定の科目を修了することで、社会教育施設である博物館（歴史博物館、美術館、文学館等）の専門職員である「博物館学芸員」の資格が取得できます。博物館学関係の専任教員は本学部に所属しており、学芸員志望の学生にとっては、適切な指導や助言が身近で得られます。

図書館司書・司書教諭

所定の単位科目を修了することで、図書館業務の専門職である「図書館司書」、および学校図書館の専門的職務を担う「司書教諭」（ただし教員免許の取得が必須）の資格が取得できます。これらの資格を統括する専任教員は本学部に所属しており、司書志望の学生にとっては、適切な指導や助言が身近で得られます。

その他の取得可能な資格

社会教育主事
日本語教師
会計プロフェッション
（公認会計士ほか）
地域学習支援士
（学部独自の資格）など

地域学習支援士

北野 唯（2014年度卒業）
（熊谷市役所勤務）

公務員になるために、まちづくりについての基礎知識や考え方を学べる授業を受けたかったこと、被災地実習に参加したいと思ったことから、「地域学習支援士」の所定科目を履習しました。自分の目で被災地の現状を見たこと、現地の方々とお話をしたことはとても大きな経験になりました。私はこの春から地元の公務員としてまちづくりに携わることになります。授業や実習を通して得たことを、今後は仕事の中で活かしたいと思います。

図書館司書

小守 美和（2011年度卒業）
（千葉県立中央図書館勤務）

資格の授業は、専門的な知識獲得はもちろん、実践的な授業が多く確実に今の仕事に役立っています。グループワークも多く、他学部の学生と意見交換できる良い機会でした。司書資格の教員は本学部に所属していて、就職の相談もしやすく心強かったです。自分の専門を生かして地元の千葉県で働けたらと思い、今の職場を選びました。希望の仕事に就くことができ、毎日がとても充実しています。

中学・高校・小学校で教える ——キャリアデザイン学部で学んだ強み

私立大東学園高等学校・社会科教諭

北條 薫（2009年3月卒業）

大学入学時より社会科教員を目指していた私は、教育系以外の科目も積極的に受講し、様々な先生方に本を紹介していただき、それらを読みあさりました。ゼミは児美川孝一郎先生。研究室に入り浸り、「教育とは何か」と、結論の出ないテーマを永遠に語り合いました。今の仕事のいしずえは、こんなふうにして養った知識・教養・思考力です。あなたもキャリアデザイン学部で仲間とともに学ぶ楽しさを追究しませんか?

群馬県太田市立太田高等学校・社会科教諭

石松 彩香（2012年3月卒業）

キャリアデザイン学部の授業では、普段は交わる機会のない他学年・他学部学生とのグループワークをとおして鍛えられました。初対面の人との議論や協力は、社会に出る前の良い経験です。教職課程センターでは、志願理由書の添削や面接練習を何度も受け、「先生になるべき存在だ」と励ましていただきました。大学で学んだ知識と経験を活かし、「人の専門家」として生徒のキャリア形成に尽力してまいります。

栃木市立小山城南小学校・教諭

五百部 弘規（2014年3月卒業）

キャリアデザイン学部は教職・教育系の授業が豊富なので免許取得の負担が少なく、私は文部科学省の認定試験に合格して小学校教員になりました。授業で知識を身につけ、様々な価値観の人たちと議論する。さらに、遠藤ゼミに入った私は、小学校のボランティアで2年間実践経験を積みました。こうした学びは、子どもたちへの指導にとても生きており、同時に、年齢の離れた先生方とも良い関係を築いていただいていることに繋がっています。

茅ヶ崎市立浜須賀中学校・社会科教諭

柳澤 優太（2014年3月卒業）

教育学専門の先生の多いキャリアデザイン学部では、1年次から「教育とは何か」「教師はどうあるべきか」を考える機会がたくさんあります。また、同じく教職を目指す先輩や仲間から多くのアドバイスも受けられ、安心して4年次の教育実習に臨めました。ゼミをとおして発達障がいの子どもを支援するボランティアに1年間たずさわれたことも貴重な経験になりました。教職科目の多くは卒業所要単位に含まれるので、無理なく履修できました。教育学に興味がある学生にはとても良い環境です。

就業研究

キャリアデザイン学部には若者の就職と労働を専門的に研究する教員が多数います。学生は、働くことの意味や仕組み、課題などを、深く学問的に学ぶと同時に、この学びに基づいて自分たちのキャリアを考えることができます。
ここでは就業に関する教員の研究の一部を紹介します。

学生・企業の数量分析　梅崎 修

就職・採用活動の実態把握のために、就職情報会社とも連携しながら学生・企業調査の数量分析を行っています。分析によって就職の支援や採用のコンサルティングが可能になり、結果的に企業と学生の良いマッチングへと繋がります。ひとつの成果として、2013年に『教育効果の実証―キャリア形成における有効性』(日本評論社)や『大学生の学びとキャリア―入学前から卒業後までの継続調査の分析』(法政大学出版局)が刊行されました。

主な著作

『**仕事マンガ!―52作品から学ぶキャリアデザイン**』(単著、ナカニシヤ出版、2011年)
『**GIANT KILLING チームを変えるリーダーの掟**』(単著、あさ出版、2013年)

職場の実態調査　上西 充子

せっかく就職しても劣悪な働かせ方の中で若者が使い捨てられていく問題が社会的に注目されています。在学中のアルバイト就労においても、既に学生は労働問題に直面しています。劣悪な働かせ方からどう身を守っていくのか、さらにはどうやって自分達で職場を改善していくことができるのか。労働相談のNPOや弁護士とも連携しながら、実態調査を行い、あるべき労働法教育を考え、政策提言を行っています。学部では2013年度より連合寄付講座「働くということと労働組合」も実施しています。

主な著作

『**ブラック企業のない社会へ**』(共著、岩波ブックレット、2014年)
『**就職活動から一人前の組織人まで**』(共著、同友館、2010年)

教育・就労問題の研究　児美川 孝一郎

学校段階でのキャリア教育や若者の就労問題について、いま何が問題なのかを研究しています。新卒一括採用、終身雇用という働き方が崩れつつあるのに、若者のキャリア形成や就労に対して、家庭も、学校も、政府も、社会も十分に適切な支援ができていません。若者が新しい社会に柔軟に対応できるようになるための、親のわが子への向き合い方、学校内外での学びのあり方を探求しています。

主な著作

『**キャリア教育のウソ**』(単著、ちくまプリマー新書、2013年)
『**キャリアデザイン学への招待**』(共編著、ナカニシヤ出版、2014年)
『**まず教育論から変えよう!**』(単著、太郎次郎社エデュタス、2015年)

5方向からの進路支援

―― より豊かなキャリア形成のために学年に応じたサポートを多面的におこないます。

5方向からの進路支援

1 充実したアドバイザー陣

1年生の秋には、全1年生を対象としたアドバイザーとの個人面談が開かれています。1年次は履修の組み方がよくわかりません。しかし、アドバイザーの元へ行くことで、4年間の履修計画が明確になりました。気軽に相談にのってくれる優しいお姉さんのような存在で、今も就職活動のアドバイスを受けたりしています。(神戸 綾 4年)

2 教員による進路支援（キャリア）

若者の就労とキャリア形成を専門とする教員が多数おり、仕事に就くこと、働くことを、学習や生活のなかに位置づける力、また社会の変化を鋭く読み解く力を、教員の研究を通して広く深く学べます。企業人を招く授業やイベントが多く、早くから「おとなの世界」に接することができることも重要なキャリア支援となっています。

3 学生同士の学び合い進路支援（キャリア）

ゼミを中心とした仲間と集団討論の練習やSPIの勉強会をして早くから就職の意識を高めてきました。引っ込み思案な私が集団討論で積極的に発言できるようになり、就職活動に向けて自信がつきました。不安もお互いに共有し励まし合える環境です。(吉田 唯 4年)

4 キャリアアップ奨励金制度

本学部では資格取得に向けチャレンジする学生に「キャリアアップ奨励金」制度を設けています。本学部の趣旨に合致する講座の受講料や資格試験の受験を補助します。毎年、ファイナンシャルプランニング技能試験、日商簿記研展、秘書技能試験など、40～50名の学生がこの奨励金を活用して資格取得に取り組んでいます。

5 大学のキャリアセンター

全学部の学生をサポートするキャリアセンターでは、就職活動の流れなどの説明会はもちろん、求人募集の案内、エントリーシートの書き方や面接指導、インターシップの支援や成果発表会、学内企業選考、OB・OGによる企業紹介、内定者による就職活動報告会など、きめ細やかにキャリア支援を行っています。1、2年次の早期から長期的なキャリア支援を行い、学生生活と就職の体系的な支援に力を注いでいます。

1年次

アドバイザーによる履修相談会、「キャリアモデル・ケーススタディ」等の授業を通じて自己のキャリア形成を考えます。

2年次

ゼミが始まり、それぞれの研究テーマを探究する中で、ディスカッションやプレゼンテーションの能力を高めます。
またキャリア体験学習等で、社会に出る体験を積みます。教職等の資格を取得する準備も進めます。

3・4年次

就職活動や各種試験に向けて、自己分析、エントリーシートの書き方講習・個人面談対策などをキャリアアドバイザーが支援します。企業の採用担当者と学生との交流会が開かれます。
学生同士の自主勉強会では、相互に支え合う中でのスキルアップをめざします。学生主体ですが、教員が指導に入ることもあります。
ゼミでは、大学での学びを今後の働き方に結びつける研究を教員が支えます。

躍進する卒業生 ── 2014年度 就職希望者 決定率（2015年4月）99.8%

2015年度に卒業した皆さんに学部での学びを聞きました。

テレビ朝日
池谷 麻依

自由に授業を履修できる
本学部は、あらゆることに
積極的に取組むことができ
私にぴったりの学部でした。

幅広いテーマで他者支援について学べる本学部は、私にぴったりの学部でした。専門の教育学以外の授業も履修することができ、自由に学ぶことができました。2年次に履修したキャリア体験学習では、志望業界のインターンシップに参加できたので、早い段階から就職へ向けて対策をすることができました。本学部には将来を見据えた意識の高い学生が多く、何事にも積極的に取り組むことができました。本学部で学んだからこそ今の自分があると、とても感謝しています。

大和証券
笠井 大樹

少人数制のゼミで
積極的に行動する意識を
身につけることができたのが
最大のメリットです。

キャリアデザイン学部の学びを通して「積極的に行動する意識」を身につけることができたのが最大の成果です。それは少人数ゼミにて、向上志向が非常に高い仲間・先生と巡り会えたからだと思っています。徹底したのは多様なジャンルの時事英文を読み込んで議論すること。この刺激的な学びを経験し、興味を持つ領域を広げつつ自身のキャリア上の強みを見つけることが出来ました。感謝の気持ちを忘れず、社会に有益となる活躍をすべく、やり甲斐を持って行動していきます。

鴻巣市役所
町田 貴子

体験型授業に力を入れている
本学部は現場での実践が
たくさんあり、
実際の仕事につながる
貴重な経験になりました。

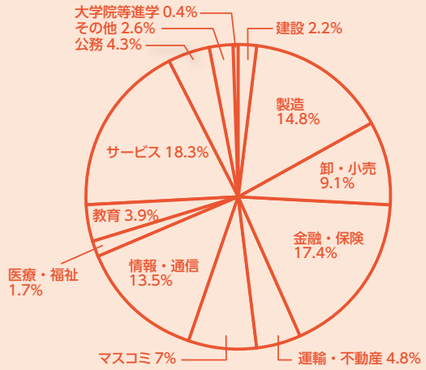
地域と関わる仕事がしたいと考えていた私にとって、座学だけでなく、体験型の授業に力を入れているカリキュラムに魅力を感じ、このキャリアデザイン学部に入りました。実際に、大学生活では、地域活動の現場に足を運ぶ機会が多くありました。学部の授業であるキャリア体験学習での実習や、学部での人との繋がりを生かし、現場を見て考えたことは、採用試験だけでなく、実際の仕事に繋がるであろう貴重な経験となっています。

アサヒ飲料
増田 爽佑

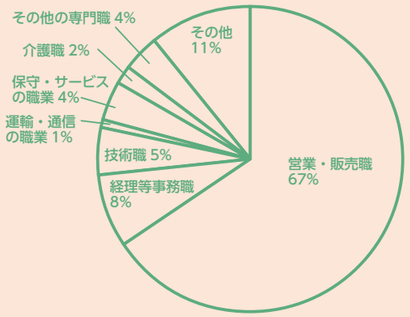
独自の学習スタイルで
個性豊かに人生設計できる、
多くの友人との出会いが
刺激となりました。

私は高校時代は勉強が嫌いで、入学当初、卒業後の見通しが何もありませんでした。しかし、この学部での実践的な学びを通じて、初めて興味のもてるものを見つけました。中でも、商品の製作・広告・販売を考える「産業組織心理学」という授業がきっかけで、何かを作り・プロデュースすることを仕事にしたいと思い、現在の就職先に決めました。それぞれ独自の学習スタイルで個性豊かに人生設計をしていく学部の友人たちとの出会いも、大きな刺激になりました。

2014 年度 業種別就職先



2014 年度 職種別構成比



卒業後の進路一覧

【建設】大和ハウス工業（株）、旭化成ホームズ（株）、（株）久保工、セキスイハイム東海（株）、トヨタホーム東京（株）　など

【製造】富士通（株）、富士重工業（株）、大王製紙（株）、凸版印刷（株）、（株）LIXIL、アサヒ飲料（株）、アマノ（株）、（株）パイロットコーポレーション、トーメイダイヤ（株）、（株）岡村製作所、因幡電機産業（株）、能美防災（株）、（株）マスダック、オーエスジー（株）、石川島運搬機械（株）、コトブキシーティング（株）、（株）トーカン、コニシ（株）、扶桑薬品工業（株）、大和グラビヤ（株）、壽精版印刷（株）、（株）新進、B-Rサーティワンアイスクリーム（株）、（株）トッパン・コスモ、（株）SARAH、（株）山善、（株）ワールド、（株）オンワード樫山、（株）ユナイテッドアローズ、（株）ファーストリテイリング、（株）コナカ、（株）クロスカンパニー、（株）ルック、アツギ（株）　など

【卸・小売】（株）そごう・西武、（株）東武百貨店、兼松（株）、加藤産業（株）、岩谷産業（株）、（株）ウチダシステムズ、（株）大塚商会、エレマテック（株）、パナソニックコンシューマーマーケティング（株）、フジオックス（株）、旭洋紙パルプ（株）、日鉄住金物産（株）、（株）ハウスオブローゼ、三弘紙業（株）、（株）ケーユーホールディングス、（株）スズキ自販大分、（株）JR東日本リテールネット、（株）STUDIOUS、As-meエステール（株）、ビーシービージーマックスアズリアジャパン（株）、（株）サークルKサンクス　など

【金融・保険】（株）三菱東京UFJ銀行[5]、（株）三井住友銀行[3]、（株）みずほフィナンシャルグループ[3]、（株）みずほ銀行[2]、（株）ゆうちょ銀行（日本郵政グループ）、日本政策金融公庫、（株）千葉銀行[3]、オリックス銀行（株）[2]、（株）常陽銀行、（株）静岡銀行、（株）東日本銀行、（株）武蔵野銀行、千葉信用金庫、多摩信用金庫、あいおいニッセイ同和損害保険（株）、明治安田生命保険（相）、セゾン自動車火災保険（株）、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険（株）、朝日生命保険（相）、SMBC日興証券（株）、みずほ証券（株）[2]、三菱UFJモルガン・スタンレー証券（株）、大和証券（株）[2]、野村證券（株）、（株）クレディセゾン、三菱UFJニコス（株）　など

【運輸・不動産】全日本空輸（株）、（株）ホームロジスティクス、東海旅客鉄道（株）、三井不動産リアルティ（株）[2]、野村不動産アーバンネット（株）、三井ホームエステート（株）、（株）東急コミュニティー、（株）ホスピタリティー&パートナーズ、（株）オメガエステート、（株）S-FIT　など

【マスコミ】（株）テレビ朝日、（株）テレビ長崎、東映（株）、（株）東急エージェンシー、（株）アマナ、（株）サイバー・コミュニケーションズ、（株）デイリー・インフォメーション、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム（株）、（株）建報社、（株）伝創社、（株）マイナビ[2]、（株）ワニマガジン、（株）総合資格、（株）トゥルーカラーズ、（株）マルホランド　など

【情報・通信】東日本電信電話（株）（NTT東日本）、（株）NTTデータアイ、（株）日立パワーソリューションズ、NECネッツエスアイ（株）、三菱電機インフォメーションシステムズ（株）、富士通システムズ・イースト、（株）FISソリューションズ、楽天（株）、（株）オービック、（株）オービックビジネスコンサルタント[2]、ダイワボウ情報システム（株）、京セラ丸善システムインテグレーション（株）、（株）セゾン情報システムズ、（株）トラステック、（株）アイ・エム・ジェイ、アソビモ（株）、（株）DTS、（株）DYM、（株）エボルバビジネスサポート、（株）シティ・コム、（株）シムテック、（株）ソリューション・アンド・テクノロジー、（株）ユニケソフトウェアリサーチ、（株）情報戦略テクノロジー、SCSK（株）、カタリズム（株）、かっこ（株）、シアトルコンサルティング（株）、協立情報通信（株）、スターティア（株）　など

【医療・福祉】日本赤十字社、公立学校共済組合、（株）チャーム・ケア・コーポレーション、（福）東京都知的障害者育成会　など

【教育】（学）法政大学、（学）本庄第一高等学校、長野県（教員）、（株）ベネッセコーポレーション、（株）LITALICO、（株）スクー、（株）湘南ゼミナール、（株）中萬学院、KCJGROUP（株）　など

【サービス】（株）パソナ[2]、（株）インテリジェンス[4]、（株）リクルートスタッフィング、キャリアリンク（株）、（株）GEEKLY、（株）インター・ベル、（株）テイクアンドギヴ・ニーズ、バリューマネジメント（株）、高見（株）、JTBグループ[4]、（株）JTBコーポレートセールス、（株）JTBメディアリテーリング、（株）JTBベネフィット、（株）エイチ・アイ・エス[2]、クラブツーリズム（株）、（株）ジェイアール東海パッセンジャーズ、（株）星野リゾート・マネジメント[2]、（株）ミリアルリゾートホテルズ、デロイトトーマツコンサルティング（株）、（株）システムコンサルタント、（株）リブ・コンサルティング、日本郵便（株）（日本郵政グループ）[2]、ALSOK綜合警備保障（株）、カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）、国際航業（株）、農林中金ファシリティーズ（株）、JBSテクノロジー（株）、（株）美泉、レイス（株）、（株）アクア、千（株）、古田土公認会計士事務所、フクダライフテック関東（株）、特定非営利法人北本市観光協会、（株）ダイナム　など

【公務】東京都庁、台東区役所、船橋市役所、成田市役所、鎌ケ谷市役所、熊谷市役所、鴻巣市役所、塩尻市役所、神奈川県警察本部、日本年金機構　など

【その他】起業[2]、自営業[2]

【大学院等進学】國學院大学大学院

本学には夜間の社会人大学院「キャリアデザイン学研究科（キャリア教育・発達プログラムおよびビジネスキャリアプログラム）」があります

多様な業種で高い評価 ── 即戦力の卒業生

3領域を学んで視野を広げ、専門分野を掘り下げた卒業生たち。
4年間で磨いたどんな力が職場で評価されているのか、上司の方に伺いました。

旅行／ Travel

斉藤 大 2013年4月入社
JTB コーポレートセールス虎ノ門
第一事業部 営業第三課

「若者のキャリア形成とその支援」を研究テーマに、児美川ゼミで理論を学び、高校に出向いて生徒たちのキャリアを支援し続けました。「こんなメニューは如何ですか?」という先生方への営業、持ち帰っての企画の練り直しなど、現場で鍛えられました。現在は法人営業部門で、「旅に備わる教育効果」を活用し、企業の課題解決支援に取り組んでいます。

上司の評価

河西 大輔
同、グループリーダー (係長)

斉藤さんは先輩から引き継いだ企業を受け持ちつつ、新規セールスも行って、有望企業との取引も広げています。さらに、都市と農山漁村が実地研修を通して双方の課題を解決する「農都交流プロジェクト」にも、自ら志願。学生時代に養った「他者支援」の観点があるからこそ、実直さと丁寧さが活かされ、着実に成長を遂げているのですね。

出版・通販・イベント／ Press/Mail Order/Event

酒井 里奈 2014年4月入社
いきいき (株)『ふくふく』編集部

通販誌の企画と提案、専門家へ取材を行い、誌面を作るのが私の仕事です。会議で提案したり取材で質問したりするのは、入社したばかりの頃は「できるかな」と不安でしたが、学生時代にディスカッションや研究発表で培った底力のお陰で、一つ一つ課題をクリアしてきました。「会議を上手く進行させる力」や「聴き取る力・伝える力」を高めておいて良かったと思います。

上司の評価

山野 佐知子
『ふくふく』編集部／リーダー兼副編集長

酒井さんの仕事は通販誌『ふくふく』の食品部門の編集です。2頁の原稿執筆から始め、約半年経った今は10頁の企画を一人で担当。ゼロから企画し、ラフコンテ・原稿書き、編集の全過程をこなします。抜群の安定感と体育会魂が持ち味で、先輩メンバーと一緒でも「一番落ち着いている」と言われるほど!手際が良くパワーもあり、頼もしい仲間です。

教育／ Education

久保田 志ほり 2014年4月着任
(2015年4月より同中学教諭)
本庄東高等学校・地歴科教諭

学生時代は「生徒の心に寄り添う教員」を目指して教育学と心理学を中心に学びつつ、被災者や障がい者といった、特別な環境にある方々のキャリアを支援する学内ボランティアで活動しました。これら全てが教員となった今、生徒との交わりの中で生きている。その確信を元に今後も、学習法はもちろん、命と人権の尊さを発信できる教員であり続けたいです。

上司の評価

川島 光
同、進路指導部長・地歴科主任

久保田さんは、日本史教諭として、また、ダンス部顧問として、あらゆる場面で生徒の成長を第一に考え、熱意をもって指導してくれています。生徒の抱える不安や悩みに真摯に向き合いながら対話している姿が日頃からよく見られ、生徒から厚く信頼されていることがうかがえます。生徒の歩みに確かな指針を与える教師として期待を寄せています。

小売／ Retail

南條 陽 2010年9月入社
株式会社ジーユー　営業部スーパーバイザー

キャリアデザイン学部だからこそマスターできたのは、相手の気持ちを考えた言動が、理解や協力に繋がるというコミュニケーションの基本です。ゼミや授業で学んだ教育学や人材育成論は、4年間の応援団の生活でも応用できました。加えて、ルールを守り礼儀・節度を大切にすること。これら全てが、より良い仕事、より良いサービスを目指す原動力となっています。

上司の評価

大迫 博文
同、営業部部長

エリアマネージャーを務める南條さんは、お客様により良いサービスを提供したいという熱意はもちろん、200名を超える従業員の上司として、スタッフ一人ひとりに気を配り、やる気を引き出すことに長けています。弊社の経営者育成において重要な力の一つである「チームを作る力」をまさに現場で実践してくれる彼女には、今後の活躍を大いに期待しています。

卒業後のキャリアデザイン

キャリアデザイン学部で学んだことを生かして、社会で活躍する卒業生のみなさんに、
学部での学びと現在、未来のキャリアデザインについて聞きました。

高橋 洋太
2007年卒業
(株) SARAH (起業)

キャリアデザイン学部では“生きていくセンス”を身に浸み込ませる事ができました。とりわけ、ビジネスセンスをつけられた事は大きく、学生起業家選手権で優勝できたり、上場するベンチャーを見極め就職したり、起業した際に億単位の資金調達ができるなど、ビジネスに対する嗅覚が身についたのは学部の先生方の指導のお陰です。

伊藤 優香
2010年卒業
森ビル株式会社
タウンマネジメント事業部

経営、教育、臨床心理、芸術。自分の未来を 1 つに絞り切れず、高校生だった私はキャリアデザイン学部を受験しました。興味関心の赴くまま学んだ大学生活。そして出会ったのが、まちづくりの仕事でした。決して 1 つの領域では語れないこの仕事の面白さに気付けたのは、多面的な視点で社会と向き合った 4 年間があったからだと思います。

横倉 幹人
2011年卒業
経済産業省商務情報政策局
文化情報関連産業課 係長
(マンガ・アニメ担当)

入省後、政府の成長戦略や、コンテンツ産業の国際展開戦略策定など、様々な業務を経験し、日々日本経済に向き合っております。その上で、必要なことはあらゆる観点から物事を考え、「問題の本質は何か」見極めるところにあります。キャリアデザイン学部で、その「考え方」を学べたことが今の業務にはもちろん、今後の人生においても大きな資産になっていくと思います。

安田 幸江
(旧姓 高梨)
2007年卒業
武田薬品工業 (株)

「結婚・出産後も働いていたい」在学中に女性の多様な働き方について学び、現在は社内のファミリーケアという制度を活用し、時間短縮勤務でMRをしています。朝の得意先訪問や夜の内勤業務など、出産前は当たり前だったことが出来なくなりましたが、以前より時間管理の意識が高まり、オンオフの切り替えが上手くなりました。

元尾 優
2007年卒業
ZACMO(ザックモ)
代表取締役CEO

多くの学部が限定的な分野の授業を基本としていますが、キャリアデザイン学部は多角的な授業構成であったために、自分のキャリア形成を考える上で非常に視野が広がりました。私は文系には珍しい IT に関する授業をきっかけに IT 企業に就職し、現在はベトナムを主戦場とした IT 企業を立ち上げ、アジアビジネスを展開しております。

安斎 貴晴
2012年卒業
(Simon Fraser University
研究生)

各々の興味関心に従い、自主的な学びを作り出すこの学部環境において、私は、全ての問題に必ずしも答えが用意されているわけではなく、自らの創造性をもって答えを生み出す大切さを学びました。現在は、バンクーバーの大学機関にて、国を越えた地球人として私たちに求められる物は何かという'Global Citizenship'の研究活動を行っています。

多彩な教授陣が皆さんの学びをサポートします

キャリアデザイン学部の専任教員と、おのおのが開講しているゼミのテーマを紹介します。
「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の3領域において、
各ゼミ1学年10名程度から成る少人数制で、多彩かつ活発な学びを展開しています。

発達・教育キャリア領域

遠藤 野ゆり 准教授

教育実践学　児童福祉　Noyuri Endo

自分の「あたりまえ」は他人の「へん」。そんな自分/他者が関わり合い変わっていく教育現場で今起きていることを、感受性豊かに見つめなおす。

尾木 直樹 教授 教職課程センター長

臨床教育学　Naoki Ogi

現代の子どもと教育の深層を探る。教育現象を素材に、国際的視野で教育のあり方を考える。

児美川 孝一郎 教授

青年期教育　キャリア教育　Koichiro Komikawa

教育という位相から、若者のキャリア形成とその支援の問題について考える。

坂本 旬 教授

情報教育論　図書館情報学　Jun Sakamoto

インターネットを活用した異文化探究学習を実践し、国際文化交流コーディネーターとしての能力を身につける。

笹川 孝一 教授

生涯学習論　リテラシー論　Koichi Sasagawa

さまざまな人のキャリアを時代と世界の中でとらえ、自分自身のキャリア形成と他の人々のキャリア支援を考える。

佐貫 浩 教授

教育政策論　教育課程論　Hiroshi Sanuki

戦後の日本社会の構造的変化をたどり、若者らをめぐる学校や家族、教育のゆくえを考える。

高野 良一 教授

教育行政論　学校イノベーション　Ryoichi Takano

学校づくりと、それを支援する教育行政機関やNPO、企業などの現場に触れ、教育の抱える諸問題を探る。

田澤 実 准教授

生涯発達心理学　教育心理学　Minoru Tazawa

移行期をキーワードに、人間の生涯にわたる発達を、それぞれの場面での支援もあわせて考える。

筒井 美紀 教授

教育社会学　労働社会学　Miki Tsutsui

「こんな社会で生きていきたいなぁ」――教育・労働・生活・政策にまたがる、あなたがやりたいテーマをとことんつき詰める。

寺崎 里水 准教授

教育社会学　学校社会学　Satomi Terasaki

学校にはなんのために行きますか。勉強？ 友達づくり？ 単なる人生の通過点？ 学校と人、社会との関わりについて考えます。

宮城 まり子 教授

臨床心理学　キャリアカウンセリング　生涯発達心理学　Mariko Miyagi

キャリア開発支援とキャリアカウンセリング。子どもから中高年に至る生涯にわたる発達とキャリア支援について研究する。

ビジネスキャリア領域

上西 充子 教授

労働問題　職業能力開発　Mitsuko Uenishi

若者が学校を出て職業へと入っていく、その移行の過程の諸問題と初期の職業キャリアについて考える。

梅崎 修 教授

労働経済学　キャリア管理論　オーラルヒストリー　Osamu Umezaki

組織を支える人々がどのように働いてきたのか、それぞれの「仕事の自分史」を掘り起こす。

木村 琢磨 准教授

経営戦略論　組織行動論　Takuma Kimura

企業経営の観点から、会社の業績を向上させるための経営戦略と人材マネジメントについて考える。

小門 裕幸 教授

アントレプレナーシップ論　Hiroyuki Kokado

革新的企業を研究することによってグローバル化が進む日本経済や金融手法を学び、あわせて事業構想力を養う。

酒井 理 准教授

マーケティング　Osamu Sakai

マーケティングという活動から、社会、企業、個人における価値とは何かを考える。考えるだけではなく、実際に行動する力を養う。

坂爪 洋美 教授

産業・組織心理学　人的資源管理　Hiromi Sakazume

働くことは充実感やストレスをもたらします。私達にとって望ましい職場とはどのようなものか、心理学の立場から考えてみませんか。

佐藤 厚 教授

産業社会学　人的資源管理論　Atsushi Sato

組織とヒトのニーズのマッチングを人的資源管理とキャリア形成のあり方に注目しながら考える。

武石 恵美子 教授

人的資源管理論　女性労働論　Emiko Takeishi

社会の変化や政策を視野に入れ、仕事と生活のバランスを重視したキャリアデザインのあり方を考える。

中野 貴之 教授

会計学　Takayuki Nakano

会計情報を適切に利用・分析できる能力を身につけ、経済的現象を的確に把握できるようになることを目指す。

八幡 成美 教授

職業能力開発　人事労務管理　Shigemi Yahata

実際のフィールドワークを中心に労働市場の調査を行い、職業キャリアを実証的に研究する。

ライフキャリア領域

荒川 裕子 教授

西洋美術史　アートマネジメント論　Yuko Arakawa

アートの持つ豊かな創造性を学ぶとともに、文化やアートを活用した地球づくりなど、社会とアートの有機的な関わりを実践的に探求する。

岩谷 道夫 教授

英語学　言語学　韓国学　Michio Iwaya

韓国の歴史とさまざまな文化を掘り下げることによって、日本との歴史的な関係を見出し、日本を捉え直す。

金山 喜昭 教授

博物館学　博物館経営論　Yoshiaki Kanayama

キャリアデザインによるまちづくり活動に参加し、歴史・文化と人々の暮らしと学びの関係を考える。

斎藤 嘉孝 准教授

家族社会学　社会調査　Yoshitaka Saito

家族・子ども・結婚・親子等を鍵に、自らのキャリア、他者支援や職業生活、社会問題や国際比較等を考える。

佐藤 恵 教授

地域社会学　社会調査　Kei Sato

「社会学への招待：『常識を疑え！』」というテーマのもとで、自分のものの見方・考え方の幅を広げる実践を行う。

田中 研之輔 准教授

都市社会学　社会調査　Kennosuke Tanaka

現代の都市の諸問題を社会学的に読み解く。特に、空間的隔離や社会的排除の「構造ー主体」関係を経験的に分析する。

趙 宏偉 教授

国際関係学　日中関係　Zhao Hongwei

現代中国と東アジアの政治・経済・文明を、人々の行動と相互の関係に注目して研究する。

安田 節之 准教授

コミュニティ心理学　プログラム評価論　Tomokuki Yasuda

超高齢社会で生じる多様なライフキャリアの課題について考え、課題解決のためのプログラムのあり方や評価方法を学ぶ。

山田 泉 教授

日本語教育　多文化教育　Izumi Yamada

グローバル化の進む世界の現状を見据え、日本社会のマイノリティ問題を考え、多文化共生社会の実現の道を探る。